

農 水 商 工 課

【総括】

平成30年度は、「鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた事業を着実に遂行していくために、本市の地方創生の方針となる5本の地域再生計画を推進していく重要な年度になりました。

この地域再生計画の内、本課が担っている事業は4つの計画に渡っており、産業振興を担う本課における役割を改めて認識するとともに、複数の部署で多分野に渡る事業展開を図れたものと実感しています。

農業については、農業の基盤整備を行うために、相差町字茅原田地区の排水路の整備を行い、農地を守る取り組みを行いました。

獣害対策業務においては、新たに導入した「ICTを活用した捕獲システム」を活用し、効率的な捕獲を行い、獣害被害の減少に向けて取り組みました。また、獣害パトロールや鳥羽市獣害対策協議会への支援を強化するなど、深刻化する獣害被害への対策の取り組みを行いました。

森林業務においては、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、市内にある危険木の伐採を行いました。今後についても継続して取り組んでいく予定です。

水産業については、地域再生計画『鳥羽海藻文化革命・幸福実感のもてるまちづくり推進計画』が新たに認定され、地方創生の推進に向けて、海藻をテーマにした事業をスタートさせました。

この中でも、市水産研究所の新設に関しては、小浜町への建設に向けた設計業務を行い、令和2年4月の運用開始に向けて事業展開ができました。市水産研究所の建設は、前述の地域再生計画の核となる事業であると考えており、これまでの研究の掘り下げの他、大学等を始めとした様々な分野の機関との連携を深め、市水産研究所を本市の水産振興拠点としていくための取り組みを継続して行っていく予定です。

漁業と観光の連携事業では、鳥羽の魚に付加価値を見出していくことを目的に、「答志島トロさわら」のブランド化を図りました。ブランド化にあたっては、厳しいブランド基準を定めた他、期間限定というプレミアム感を持たせたことで、多くのメディアに取り上げられました。それに伴い、「答志島トロさわら」を求める事業者や観光客も増え、魚価の向上へもつなげることができました。

海女漁業の振興では、平成28年度に行政等の関係機関が共同で作成した『海女文化を活かした活性化構想計画』を推進するため、海女漁具の購入補助及び海女小屋等の修繕補助を継続して実施した他、海女の主要漁獲物であるアワビを増やすことを目的に、アワビ稚貝の大型化を目指した中間育成事業の取り組みを始めました。

漁港事業では、坂手漁港の護岸の老朽化により機能が低下したことから、その機能を回復する護岸工事を行うための測量・地質調査・設計を行いました。

答志漁港は、平成30年3月から鳥羽漁業圏内の水産物の集約を図る中心的な役割を果たす「流通拠点漁港」に位置づけられ、県営化されたことから、漁港用地等の移管に必要な作業を進めました。

商工業については、中小企業等の活性化を目指して鳥羽商工会議所に支援を行うとともに、関係機関（シルバー人材センターや伊勢地域勤労者福祉サービスセンター等）への財政支援や起業に対する取組（セミナー開催、施設整備補助）を行いました。

また、地方創生の事業でもある「とばびと活躍プロジェクト」の「働く」という理念により、従来からのハローワーク伊勢との連携強化や鳥羽高校でのガイダンス等を実施するとともに、次年度以降の取組（プチ勤務カタログや就労相談員の配置等）に向けた検討を行いました。

次年度は、2本の地域再生計画が最終年度となりますが、これまで取り組んできた事業を振り返りながら、多くの関係機関と連携した更なる産業発展への取組を進めていきたいと考えています。

【新たに実施した事業】

○アワビ資源回復実証実験事業

アワビ種苗の大型化に向けた中間育成事業を実施。

○鳥羽海藻文化革命事業

地方創生推進交付金を活用し、鳥羽の海藻をテーマとした事業（鳥羽市水産研究所新築工事設計業務、鳥羽海藻文化祭事業等）を実施。

○リモナイトを活用した藻類活性化に向けた実証実験

天然鉱石リモナイトを活用した藻類活性化に向けた実証実験を、三重大学、三重県工業研究所とコンソーシアムを組み実施。

○ICTを活用した獣害捕獲システムの導入

鳥羽商船高等専門学校と連携し、スマートフォンアプリにおいて捕獲等を行うことができるシステムを導入し、有害鳥獣の捕獲を実施。

○危険木伐採事業

「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、市内にある危険木の伐採を実施した。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,600	2,600					2,600	

事業区分	3 基金積立金	2,600 千円	事項別明細書	P 56 ~
積立金 (基金)		予算現額	2,600 千円	
		決算額	2,600 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	0 千円	
アワビ種苗放流への寄付金をいただいたことから、当該寄付金をふるさと創生基金へ積立てました。				
○主な経費				
積立金 2,600千円				

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 6 企画費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
244	156				156		

事業区分	3 友好都市提携事業		156 千円	事項別明細書 P 58 ~
友好都市提携事業			予算現額	244 千円
			決算額	156 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	160 千円	
<p>友好都市の兵庫県三田市で開催された「三田農業まつり」（11月11日開催）や災害時相互応援協定を締結している岐阜県美濃市の「産業祭」（11月10日開催）、長野県飯島町の「いいちゃん祭り」（11月3日開催）等のイベントに参加し、お互いの交流を深めるとともに海辺のまちならではの産品をPRすることができました。</p> <p>○主な財源 繰入金 ふるさと創生基金 156千円</p>				

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 14 地域振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,320	2,005						2,005

事業区分	3 地域おこし協力隊事業		2,005 千円	事項別明細書 P 66 ~
地域おこし協力隊事業（石鏡町）			予算現額	2,320 千円
			決算額	2,005 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	0 千円	
<p>平成27年に海女後継者として委嘱した隊員が3年間の任期を終え、その後、海女として地域に定着していただくことにつながりました。定住にあたっては、隊員が持つフォトグラファーとしての特技を活かした活動を支援するための補助支援も行いました。</p> <p>この他、隊員が撮りためた海女の写真を活用した写真展を石鏡町を始めとした市内で開催し、生活感のある本物の海女文化を発信する機会創出につなげることができました。</p> <p>○主な経費 協力隊報償費 664千円 起業支援等にかかる補助金 1,000千円</p>				

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 1 農業委員会費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
13,014	11,901		2,743			143	9,015

農業委員会運営事業	予算現額	12,880 千円
	決算額	11,767 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 9,054 千円

農業委員会を定例で開催し、農地法にかかる申請案件の審議手続き、諸証明等の事務処理を行いました。

また、三重県都市農業委員会会長会議に本市農業委員会会長と事務局職員が出席しました。

農業委員会事務

農業委員会 11回開催 農業委員研修 1回開催 証明書等の事務処理 14件

農業委員会案件 農地法関係 19件 申請証明関係 15件

○主な経費

職員人件費（1名）7,486千円 農業委員報酬（12名）1,044千円

農地利用最適化委員報酬（5名）385千円

負担金

科目名称	補助金等の名称	支出先	金額（円）
会費等負担金	三重県農業会議負担金	三重県農業会議	268,000

○主な財源

県支出金 農業委員会交付金 1,206千円

県支出金 農地集積集約化対策事業費補助金 1,537千円

農業者年金業務	予算現額	134 千円
	決算額	134 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 131 千円

農業者年金基金法に基づき、独立行政法人「農業者年金基金」から委託を受け、農業者年金に係る年金加入者の資格及び給付関係の確認業務を行いました。

1、資格関係の処理

(1) 資格喪失状況 ……死亡資格喪失 5人

(2) 資格取得状況 ……資格取得 0人

2、給付関係の処理

(1) 受給権者受給状況 経営移譲年金受給者 43人

老齢年金受給者 25人

○主な経費

需用費 101千円

○主な財源

農業者年金業務委託手数料 134千円

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 2 農業総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
18,039	17,762					17	17,745

事業区分		1 農業給与等管理費		17,762 千円		事項別明細書 P 126 ~	
農業一般管理経費				予算現額	18,039 千円		
				決算額	17,762 千円		
				翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう			(前年度決算額)	9,307 千円		
<p>農林業務に関する事務を行うため、職員2名分と嘱託職員1名分、臨時職員2名分の人件費を支出しました。</p> <p>○主な経費</p> <p>職員人件費 (2名) 7,375千円</p> <p>嘱託、臨時職員人件費 (3名) 6,289千円</p>							

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 3 農業振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
6,488	5,421		1,157		333	5	3,926

事業区分		1 農業振興事業		4,463 千円		事項別明細書 P 128 ~	
農業振興鳥獣害対策事業				予算現額	4,285 千円		
				決算額	3,780 千円		
				翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう			(前年度決算額)	3,652 千円		
<p>野生獣の被害軽減を目的に有害獣捕獲報償金の支出や市獣害対策協議会へ補助を行ったほか、ICTの技術を活用した捕獲に取り組みました。</p> <p>市内の農地で、野生獣からの被害防止対策のために防護柵等の資材購入費に対して一部補助を行い、農業者支援に取り組みました。</p> <p>その他、鳥獣害対策に取り組む団体へ有害鳥獣駆除業務を委託し、獣害対策の強化を行いました。</p>							

農業振興鳥獣害対策事業

○主な経費

有害獣捕獲報償金 606千円

【有害駆除頭数】

	猪	シカ	サル
頭数	58	20	6

委託料

契約名	委託内容	委託期間	契約額 (円)
有害鳥獣駆除業務委託	鳥羽市全域の有害鳥獣駆除業務	平成30年4月10日～平成31年3月31日	500,000

補助金

科目名称	補助金等の名称	交付先	金額 (円)
補助金	鳥羽市鳥獣害対策事業費補助金	獣害対策用資材購入者60人	1,926,482
補助金	鳥羽市獣害対策推進協議会	鳥羽市獣害対策推進協議会	675,000
計			2,601,482

○主な財源

県交付金 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金 594千円

農業振興地産地消促進事業		予算現額	1,161 千円
		決算額	683 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	821 千円

農産物の増産と地産地消を推進するため、農業者の地元で開催されている農産物直売所や鳥羽マルシェの運営にかかる支援を行いました。

農作物の生産拡大や経営基盤の強化を図るためにビニールハウス等設置事業補助金を引き続き行い、農家の生産支援を図りました。

換金できる農産物づくりを進めるため、昨年に続き、市内で栽培されていない作物などの新規作物種を、希望があった農業者へ配布しました。

鳥羽志摩農業協議会へ負担金を支出し、J A鳥羽志摩、伊勢地域農業改良普及センターと協力し、野菜栽培講習会を実施しました。

○主な経費

原材料費 118千円

負担金・補助金

科目名称	補助金等の名称	支出先	金額 (円)
会費等負担金	三重県松阪食肉公社施設維持管理対策支援負担金	三重県松阪食肉公社	130,000
会費等負担金	鳥羽志摩農業協議会会費	鳥羽志摩農業協議会	219,300
補助金	平成30年度ビニールハウス設置事業補助金	ビニールハウス設置者 3人	214,465
計			563,765

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金 333千円

浦村農村婦人の家運営事業	予算現額	416 千円
	決算額	395 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 362 千円

浦村農村婦人の家は、浦村地区における婦人会を中心に、老人会・子供会・町内会等が、健康増進や研修及び地域活動の拠点施設として活用しています。

当施設の維持管理及び利用しやすい環境づくりに努めました。

○主な経費

浦村農村婦人の家館長報酬 34千円

需用費（光熱水費、修繕料） 241千円

利用状況

括弧内は、平成29年度数値

区分	共同学習室	集会室兼 健康増進管理室	農産加工調理室	合計
回数	5回（6回）	8回（7回）	5回（5回）	18回（18回）
人数	592人（620人）	632人（640人）	652人（300人）	1,876人（1,560人）

○主な財源

浦村農村婦人の家使用料 5千円

経営所得安定対策事業	予算現額	626 千円
	決算額	563 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 2,573 千円

水稲農業の作付状況を調査し、作付地及び荒廃地の特定作業を行いました。

○主な経費

需要費 252千円

○主な財源

県補助金 経営所得安定対策事業費補助金 563千円

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 4 農地費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
15,204	14,030		5,942	2,300		557	5,231

農業基盤整備事業	予算現額	14,614 千円
	決算額	13,633 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 13,649 千円

農業生産の基盤となる用水路や農道などの補修や改良工事を行い、機能向上や安定的な生産に向けた整備を行いました。

相差町浅利ヶ浜における流木や漂着ゴミ等の収集、処理業務を継続して委託し、海岸の維持管理に努めました。

多面的機能支払交付金事業は、昨年度に引き続き2地区に交付金の支払いを行い、農地周辺の出合いや景観形成に係る経費についての支援を行いました。

農道の維持補修目的に、町内会を中心に生コンクリート等の原材料を継続して支給し、農作業の円滑な実施に向け支援を行いました。

長岡地区で、排水路整備を行い、農業基盤の整備に努めました。

○主な経費

委託料

契約名	委託内容	委託期間	契約額 (円)
海岸環境整備事業相差地区業務委託	流木、ゴミ処理海岸施設管理	平成30年5月7日～平成31年2月28日	500,000
平成30年度分 合計			500,000

工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	契約額 (円)
岩倉町	岩倉町字田城地区水路整備工事	配管布設、継手工	498,960
河内町	河内町農道小河内線道路補修工事	道路補修工	399,600
松尾町	松尾町農道ツツジ1号線土砂撤去工事	土砂撤去工	394,200
松尾町	松尾町大井井堰土砂撤去工事	掘削、押土 25m ³	299,160
相差町	長岡地区排水路整備工事	排水路整備 L=105m	7,000,560
平成30年度分 合計			8,592,480

負担金・交付金

科目名称	補助金等の名称	支出先	金額 (円)
会費等負担金	三重県土地改良事業団体連合会一般賦課金	三重県土地改良事業団体連合会	30,000
会費等負担金	三重県土地改良事業団体連合会特別賦課金	三重県土地改良事業団体連合会	28,000
会費等負担金	三重県農道管理協議会会費	三重県農道管理協議会	33,000
会費等負担金	三重県農地海岸協議会会費	三重県農地海岸協議会	15,000
交付金	多面的機能支払交付金	茅原田推進委員会他1団体	2,122,888
計			2,228,888

農業基盤整備事業			
○主な財源			
高度水利機能確保基盤整備事業費補助金		3,850千円	
県委託金	海岸維持修繕事業委託金	500千円	
県交付金	多面的機能支払交付金	1,592千円	
使用料	敷地占用料	557千円	
加茂川井堰等農事用水路管理業務		予算現額	590千円
		決算額	397千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	1,093千円
県営加茂川改修事業により改修された3つの井堰の維持管理を行い、水田農業の推進に努めました。			
○主な経費			
需用費（光熱水費）		397千円	

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 5 園芸センター費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,478	2,887					342	2,545

事業区分	1 園芸センター運営管理経費		2,887千円	事項別明細書 P 130 ~	
	園芸センター運営事業			予算現額	3,478千円
				決算額	2,887千円
				翌年度繰越額	0千円
	まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	2,981千円	
野菜苗の育成や花苗、しきび、葉ばたんなどの販売を継続して行いました。 地域美化活動の一環として町内会・学校施設などに花や球根の無償配布を行うことで、市内や公共施設の環境美化に努めました。					
○主な経費					
臨時職員人件費（3名） 2,088千円					
需用費 523千円					
○主な財源					
農産物売払い収入 264千円					
麴菌代他 73千円					
園芸センター光熱水費 5千円					

(款) 5 農林水産業費

(項) 2 林業費

(目) 1 林業総務費

(単位:千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,520	1,464				496	2	966

事業区分		1 林業管理経費		1,464 千円 事項別明細書 P 132 ~																																					
森林環境保全管理事業				予算現額	1,520 千円																																				
				決算額	1,464 千円																																				
				翌年度繰越額	0 千円																																				
まちづくりの目標	3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額)	5,396 千円																																						
<p>長年の鹵被害により木々の枯れが著しい三ツ島の樹木について剪定と伐採を行い、環境の保全に努めました。</p> <p>遊歩道として利用されている、堅神町光り石地区の生活環境保全林について、景観を維持するために風倒木の処理や歩道内の整備を実施しました。</p> <p>○主な経費</p> <p>委託料 (電算委託料・委託料)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>契約名</th> <th>委託内容</th> <th>委託期間</th> <th>契約額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三ツ島維持管理業務委託</td> <td>支障木伐採等</td> <td>平成31年2月4日～平成31年3月22日</td> <td>496,800</td> </tr> <tr> <td>生活環境保全林管理業務委託</td> <td>堅神町字光り石地区内の歩道管理及び整備</td> <td>平成30年12月10日～平成31年1月10日</td> <td>299,160</td> </tr> <tr> <td colspan="3">平成30年度分 合計</td> <td>795,960</td> </tr> </tbody> </table> <p>負担金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名称</th> <th>補助金等の名称</th> <th>支出先</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会費等負担金</td> <td>全国山村振興連盟一般会費・全国山村振興連盟三重県支部会費</td> <td>全国山村振興連盟 全国山村振興連盟三重県支部</td> <td>45,000</td> </tr> <tr> <td>会費等負担金</td> <td>一般社団法人 三重県森林協会会費</td> <td>一般社団法人 三重県森林協会</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>会費等負担金</td> <td>三重県緑化推進協会会費</td> <td>三重県緑化推進協会</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>185,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な財源</p> <p>繰入金 ふるさと創生基金 496千円</p>						契約名	委託内容	委託期間	契約額 (円)	三ツ島維持管理業務委託	支障木伐採等	平成31年2月4日～平成31年3月22日	496,800	生活環境保全林管理業務委託	堅神町字光り石地区内の歩道管理及び整備	平成30年12月10日～平成31年1月10日	299,160	平成30年度分 合計			795,960	科目名称	補助金等の名称	支出先	金額 (円)	会費等負担金	全国山村振興連盟一般会費・全国山村振興連盟三重県支部会費	全国山村振興連盟 全国山村振興連盟三重県支部	45,000	会費等負担金	一般社団法人 三重県森林協会会費	一般社団法人 三重県森林協会	120,000	会費等負担金	三重県緑化推進協会会費	三重県緑化推進協会	20,000	計			185,000
契約名	委託内容	委託期間	契約額 (円)																																						
三ツ島維持管理業務委託	支障木伐採等	平成31年2月4日～平成31年3月22日	496,800																																						
生活環境保全林管理業務委託	堅神町字光り石地区内の歩道管理及び整備	平成30年12月10日～平成31年1月10日	299,160																																						
平成30年度分 合計			795,960																																						
科目名称	補助金等の名称	支出先	金額 (円)																																						
会費等負担金	全国山村振興連盟一般会費・全国山村振興連盟三重県支部会費	全国山村振興連盟 全国山村振興連盟三重県支部	45,000																																						
会費等負担金	一般社団法人 三重県森林協会会費	一般社団法人 三重県森林協会	120,000																																						
会費等負担金	三重県緑化推進協会会費	三重県緑化推進協会	20,000																																						
計			185,000																																						

(款) 5 農林水産業費

(項) 2 林業費

(目) 2 林業振興費

(単位:千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
10,647	7,075	612	5,737		400	29	297

森と海・きずな事業（環境林整備促進）	予算現額	10,327 千円
	決算額	6,976 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額) 16,786 千円

市の主要な森林地区である河内町字引端地区の受光伐を継続して実施しました。
みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した事業では、各町内会等から町内の危険木伐採に関する要望を募り、優先順位をつけ、5か所の危険木の伐採を行いました。

○主な経費

委託料

契約名	委託内容	委託期間	契約額（円）
森林環境創造事業委託	受光伐20%以上40%未満 3.064ha	平成30年12月11日～ 平成31年3月22日	1,224,720
危険木伐採業務委託	鳥羽三丁目、答志町、 岩倉町地内	平成31年2月8日～ 平成31年3月22日	4,254,120
坂手地区危険木伐採業務委託	坂手町 危険木伐採	平成31年2月28日～ 平成31年3月29日	498,960
船津地区危険木伐採業務委託	船津町 危険木伐採	平成31年3月15日～ 平成31年3月29日	395,020
平成30年度分 合計			6,372,820

補助金

科目名称	補助金等の名称	支出先	金額（円）
補助金	鳥羽市薪ストーブ設置利用拡大 促進事業補助金	薪ストーブ購入者4人	400,000

○主な財源

国庫補助金	美しい森林づくり基盤整備交付金	612千円
県補助金	森林環境創造事業補助金	489千円
	みえ森と緑の県民税市町交付金	5,248千円
繰入金	ふるさと創生基金	400千円

森林病虫害防除事業	予算現額	320 千円
	決算額	99 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額) 594 千円

森林病虫害の防除を目的に薬剤地上散布を継続して実施することにより、松の維持管理に努めました。

森林病虫害防除事業			
○主な経費			
委託料			
契約名	委託内容	委託期間	契約額 (円)
森林病虫害等防除事業	薬剤地上散布 相差町地内 100	平成30年6月20日～ 平成30年9月20日	99,360
○主な財源			
その他 松くい虫事業寄付金 29千円			

(款) 5 農林水産業費

(項) 3 水産業費

(目) 1 水産業総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
25,892	25,676						25,676

事業区分	1 水産業給与等管理費		25,676 千円 事項別明細書 P 134 ~				
	水産業一般管理経費		予算現額	25,892 千円			
			決算額	25,676 千円			
			翌年度繰越額	0 千円			
	まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	28,068 千円			
水産業務を行うため、職員4名分の人件費等を支出しました。							
○主な経費							
職員人件費 (4名) 25,658千円							

(款) 5 農林水産業費

(項) 3 水産業費

(目) 2 水産業振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
39,384	32,458	7,255	7,660	5,500	3,983	0	8,060

事業区分	1 水産業振興推進事業		705 千円 事項別明細書 P 134 ~				
	水産物高付加価値化事業		予算現額	80 千円			
			決算額	80 千円			
			翌年度繰越額	0 千円			
	まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	80 千円			

水産物高付加価値化事業

水産物の消費拡大や普及を目的とし、三重県水産物消費拡大促進協議会が作成した「おさかなカレンダー」の市内幼稚園等へ配布、海の博物館での料理講習会、菅島地区での漁業に関する学習会を開催しました。

○主な経費

県水産物消費拡大促進協議会負担金 80千円

養殖漁業経営支援（漁業共済補助）事業	予算現額	140 千円
	決算額	122 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 122 千円

中小漁業者を対象として漁業災害補填表に基づく漁業共済掛金の一部（赤潮特約分）を補助することで、漁業共済制度の利用を促進し、漁業経営の安定化に努めました。

○主な経費

漁業共済赤潮特約事業補助金 122千円

共済名	養殖の種類	補助件数	補助金額
赤潮特約	魚類養殖	2 件	1 千円
赤潮特約	かき養殖	85 件	121 千円
合計		87 件	122 千円

養殖漁業者に対する漁業近代化資金及び災害復旧特別資金利子補給	予算現額	179 千円
	決算額	140 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 185 千円

平成23年の東日本大震災により被害を受けた養殖漁業者が、災害復旧資金を活用する際の利子補給を行い、漁業経営の安定化に努めました。

○主な経費 津波被害を受けた養殖漁業者に対する災害復旧特別資金等利子補給金 140千円

資金名	利子補給率	件数	利子補給金額	備考
近代化災害資金	0.65%	19 件	77 千円	利子補給期間 H23～33年度
近代化災害資金	0.70%	8 件	46 千円	
災害復旧特別資金	0.65%	7 件	5 千円	
災害復旧特別資金	0.70%	8 件	12 千円	
合計		42 件	140 千円	

水産多面的機能発揮対策事業	予算現額	363 千円
	決算額	363 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 363 千円

水産多面的機能発揮対策事業

水産業の再生及び漁村の活性化を図ることを目的に県・市町・漁協等が地域協議会を設立し、本協議会を通じて、地域で保全活動等を行う団体（答志島・菅島・浦村）へ支援を行いました。

○主な経費

水産多面的機能発揮対策事業負担金 363千円

事業区分

2 種苗放流事業

8,710 千円 事項別明細書 P 134 ~

種苗放流事業	予算現額	9,264 千円
	決算額	8,710 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 8,708 千円

水産資源の資源量の維持・増大を図るため、鳥羽磯部漁業協同組合が実施する有用魚種の種苗放流事業に補助支援を行った他、平成28年度に整備したコンクリート板漁礁へ種苗放流を行い、経過観察を目的としたモニタリングを継続的に実施しました。

また、(公財)三重県水産振興事業団が実施するマダイの種苗放流事業に対して、三重県外海域(鳥羽市～紀北町)の関係市町と連携して負担金を支出し、栽培漁業による水産資源の回復と持続的利用を図るための取り組みを支援しました。

○主な経費

種苗放流事業費補助金 5,560千円

種苗種類	放流数量	事業費	補助率	補助金額
あわび (30mm)	29,000 個	1,396 千円	2/3	931 千円
あわび (25mm)	104,144 個	4,436 千円	2/3	2,957 千円
ひらめ	45,000 尾	1,708 千円	1/2	854 千円
くろだい	4,500 尾	342 千円	1/2	171 千円
赤なまこ	670 kg	670 千円	1/2	335 千円
さざえ	450 kg	625 千円	1/2	312 千円
合計				5,560 千円

地域展開促進事業に係るマダイ種苗負担金 2,000千円

(放流尾数：109,500尾)

○主な財源

地方債 過疎地域自立促進特別事業債 5,500千円

繰入金 ふるさと創生基金 3,150千円

事業区分

3 地域産物生産販売振興事業

499 千円 事項別明細書 P 134 ~

6次産業化推進事業	予算現額	950 千円
	決算額	499 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 663 千円

6次産業化推進事業

6次産業化・地産地消推進協議会での活動及び、6次産業化に取り組む個人や団体に対する補助支援を行いました。

市単独で実施している補助制度については、4件の支援につなげることができ、新たな地域産品として本市のPRにつながっていくものと期待しています。

○主な経費

協議会委員及び相談会助言者報償費 95千円

6次産業化活動支援事業補助金 254千円

○主な財源

県支出金 6次産業化ネットワーク交付金 214千円

繰入金 ふるさと創生基金 254千円

事業区分

4 海女文化継承啓発事業

14,599千円 事項別明細書 P 134 ~

海女文化継承啓発事業	予算現額	14,928千円
	決算額	14,599千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 15,738千円

海女漁業の振興と海女文化の保存・継承を目的に志摩市と共に組織する「海女振興協議会」と連携し、海女漁業振興及び海女文化の保存継承に向けた取り組みを推進しました。

「海女さん応援事業」では、当該年度も継続実施し、海女漁にかかる漁具購入（ウェットスーツ、フィン等）にかかる負担軽減を目的に、申請のあった海女90人に補助支援を行いました。

また当該補助では、35人の新人海女にも補助を行っていることから、海女漁を始めるにあたってのきっかけづくりにつながったものと考えています。

海女の労働環境改善については、海女小屋等の修繕を行う海女労働環境整備事業を4地域に補助支援し、安心安全な海女漁につなげることができました。

また、鳥羽磯部漁協等と連携し、アワビ種苗の大型化に向けた取り組みをスタートさせ、大型種苗の放流にまでつなげることができました。これについては、将来的な放流効果測定のために金属タグを付け放流したことから、継続してモニタリングを実施していきます。

この他、地域再生計画に基づく「鳥羽海藻文化革命」を推進するための事業として「鳥羽海藻文化祭」を開催し、多くの方々へ海藻の持つ魅力を発信する機会を創出できました。

○主な経費

海女振興協議会負担金 1,800千円

海女さん応援事業補助金 2,713千円

アワビ資源回復実証実験事業委託料 4,000千円

海女漁業労働環境整備事業補助金 3,000千円

鳥羽海藻文化祭事業委託料 2,499千円

○主な財源

国庫支出金 地方創生推進交付金 7,005千円

繰入金 ふるさと創生基金 579千円

事業区分	5 移住・定住促進事業		499 千円	事項別明細書 P 134 ~
漁業就労応援事業			予算現額	500 千円
			決算額	499 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	499 千円	
<p>漁業の後継者対策と移住・定住促進を目的に、新たに漁業就労に興味のあるかたに向けた機会を創出するため、菅島地区においてワカメ漁をテーマにした体験ツアーを実施し、10人の参加がありました。</p> <p>○主な経費 漁業就労応援事業委託料 499千円</p> <p>○主な財源 国庫支出金 地方創生推進交付金 249千円</p>				

事業区分	6 離島漁業再生支援交付金事業		7,446 千円	事項別明細書 P 134 ~
離島漁業再生支援交付金事業			予算現額	12,980 千円
			決算額	7,446 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	7,530 千円	
<p>離島地域の基盤産業である漁業の維持・再生を図ることを目的に、各集落（答志、和具浦、菅島、神島）が実施する実践的な取り組みを補助支援しました。今年度は、昨年度に作製した海底耕耘機を活用した海底土壌の攪拌、種苗放流、漁場監視、ワカメの茎を活用した商品開発等に対する取り組みを支援し、離島漁業の活性化につなげることができました。</p> <p>○主な経費 離島漁業再生支援交付金 7,446千円</p> <p>○主な財源 県支出金 離島漁業再生支援交付金 7,446千円</p>				

(款) 5 農林水産業費

(項) 3 水産業費

(目) 3 水産研究所費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
343,103	29,967	5,768		5,400	636	3,898	14,265

事業区分	1 水産研究所給与等管理費		19,010 千円	事項別明細書 P 136 ~
水産研究所維持管理業務			予算現額	19,816 千円
			決算額	19,010 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	22,049 千円	

水産研究所維持管理業務

クロノリやワカメを中心とした養殖用種苗の生産や現地指導の他、鳥羽商船高等専門学校と連携しICTを活用した漁場監視の取り組みを実施しました。

また、研究所職員がドローン操縦にかかる資格を取得し、ドローンを活用した更なる取組みへつなげるための足掛かりとしました。

この他、三重大学、三重県工業研究所とコンソーシアムを組み、天然鉱石であるリモナイトを活用した藻類活性化に向けた実証実験をスタートさせました。

○主な経費

- 職員人件費（2名） 14,040千円
- 備品購入費（卓上人工気象器他） 882千円

○主な財源

- 国庫支出金 地方創生推進交付金 289千円
- 財産売払収入 水産物（海藻類種苗）売払収入 2,624千円
- 雑入 研究成果最適展開支援プログラム受託費 1,274千円
- 繰入金 ふるさと創生基金 636千円

種苗生産業務

種付け用カキ殻やクレモナ糸を活用して各種種苗を生産し、漁業者等に販売することで、養殖漁業者に有益な種苗活用に向けて取り組みました。

【販売実績】

種苗種類	数量	単価	売払い収入
ワカメ種糸	23,100 m	35～100 円	1,202 千円
黒ノリ糸状体	55,200 枚	15～27 円	1,422 千円
合計			2,624 千円

水産研究所建設事業	予算現額	323,287 千円
	決算額	10,957 千円
	翌年度繰越額	308,420 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 0 千円

市水産研究所の機能強化を図ることを目的に、昭和39年に坂手島へ設置した本研究所を小浜地区へ新設することに伴い、設計測量業務を行いました。

新研究所については、令和2年4月からの供用開始を目指し、本市の水産振興拠点として多分野連携による取り組みを進めていきたと考えています。

なお、平成31年3月に、地方創生拠点整備交付金（H30補正予算）が採択されたことから、工事費や備品購入費等について同交付金を活用するため、308,420千円を翌年度に繰り越します。

○主な経費

- 設計測量業務委託料 10,589千円

水産研究所建設事業

○主な財源

国庫支出金 地方創生推進交付金 5,479千円

過疎対策事業債 5,400千円

(款) 5 農林水産業費

(項) 3 水産業費

(目) 4 漁港管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
15,736	12,888		6,433			1,928	4,527

事業区分	1 漁港管理経費	12,888 千円	事項別明細書 P 136 ~
漁港漁場管理業務	予算現額	15,736 千円	
	決算額	12,888 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	5,274 千円
<p>市が管理している11漁港について、漁港漁場整備法、海岸法及び市漁港管理条例に基づき、運営・管理を行い、適切かつ安全な利用促進を図りました。</p> <p>また、平成29年の台風21号により桃取漁港へ流入し、処分保留となっていた漂着物の処分を完了させることができました。</p>			
○主な経費			
<p>海浜施設管理業務委託 2,331千円 (答志、和具(答志)、桃取、菅島の海水浴場と付随する施設の管理)</p> <p>桃取漁港駐車場管理業務委託 716千円(指定利用22件、未指定利用144件)</p> <p>標識灯点検業務委託 652千円(平成29年度点検漁港：坂手漁港、相差漁港)</p> <p>海岸漂着物処分委託業務 7,149千円(平成29年度桃取漁港漂着物分)</p>			
○主な財源			
<p>県支出金 海岸漂着物等対策事業補助金 6,433千円</p> <p>使用料 漁港施設等占用料 1,928千円</p>			

(款) 5 農林水産業費

(項) 3 水産業費

(目) 5 漁港建設費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
82,218	55,837	4,607	17,213	4,600			29,417

国補事業	予算現額	45,685 千円
	決算額	22,099 千円
	翌年度繰越額	17,947 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 29,997 千円
<p>和具(答志)漁港、桃取漁港、菅島漁港、坂手漁港において、海岸保全施設の適切な維持管理を推進するため、海岸施設長寿命化計画を策定しました。今後は、本計画に基づき、長寿命化に向けた整備を図っていきます。</p> <p>また、坂手漁港護岸保全工事では、測量、地質調査及び設計業務に取り組みました。そのうち設計業務について、地元調整や地質調査による地盤の状況から工法の選定に時間を要したため、17,947千円を翌年度に繰り越しました。</p>		
<p>国補事業</p> <p>○主な経費</p> <p>職員人件費(2名)(支弁人件費) 1,018千円</p> <p>和具(答志)漁港海岸施設外3漁港海岸施設長寿命化計画策定業務委託 8,378千円</p> <p>坂手漁港機能保全事業測量業務委託 2,884千円</p> <p>坂手漁港機能保全事業に伴う地質調査業務 9,170千円</p> <p>○主な財源</p> <p>国支出金 漁港施設整備事業費補助金 4,607千円</p> <p>県支出金 漁港施設整備事業費補助金 9,643千円</p> <p>地方債 漁港整備事業債(過疎対策事業) 2,600千円</p>		
国補事業【繰越明許費】	予算現額	12,617 千円
	決算額	12,617 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 0 千円
<p>平成29年度からの繰越事業として、答志漁港にある防波堤等の外郭施設の耐震・耐津波診断を実施し、外郭施設の機能強化に向けての基礎資料とすることができました。</p> <p>○主な経費</p> <p>答志漁港(寺浜)耐震・耐津波診断業務委託(その2) 8,500千円</p> <p>答志漁港耐震・耐津波対策検討業務委託 2,293千円</p> <p>答志漁港(寺浜)耐震・耐津波診断に伴う地質調査業務委託 1,824千円</p> <p>○主な財源</p> <p>県支出金 漁港施設整備事業費補助金 7,570千円</p>		
市単事業	予算現額	23,916 千円
	決算額	21,121 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 21,893 千円
<p>国補事業及び市単事業の対象とならない小規模工事(照明灯などの修繕含む。)について相違漁港他26件(うち修繕工事10件)を実施し、漁港施設の利便性向上と安全性の確保に努めました。</p> <p>また、平成30年度から県営化に必要な答志漁港の土地境界の確定測量を実施し、その整理に努めました。</p>		

市単事業
○主な経費 職員人件費（2名） 10,628千円 答志漁港確定測量業務委託 3,664千円 相差漁港防潮トビラ設置工事他市内漁港工事15件 4,741千円 桃取漁港海水浴場トイレ修繕工事他市内漁港修繕工事9件 583千円
○主な財源 地方債 過疎対策事業債 2,000千円

(款) 6 観光商工費

(項) 2 商工費

(目) 1 商工総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
21,488	21,349					5	21,344

事業区分	1 商工給与等管理費		21,349 千円 事項別明細書 P 142 ~											
	商工一般管理経費						予算現額	21,488 千円						
							まちづくりの目標 1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう						決算額	21,349 千円
													職員4名分の人件費を支出し、商工労政の一般事務を行いました。また昨年度に引き続き、職員1名の育児休暇に伴い、臨時職員を雇用して事務を行いました。	
	○主な経費 職員人件費（4名） 19,239千円 臨時職員分（1名） 2,110千円						(前年度決算額)	23,165 千円						

(款) 6 観光商工費

(項) 2 商工費

(目) 2 商工振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
57,826	52,835	722			2,319	32,000	27,858

事業区分	1 商工業振興管理経費		9,430 千円 事項別明細書 P 144 ~											
	中小企業支援事業						予算現額	4,182 千円						
							まちづくりの目標 2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう						決算額	4,174 千円
							(前年度決算額)	4,174 千円						

中小企業支援事業

鳥羽商工会議所への補助金や関係団体への負担金の支出により、各団体による中小企業相談体制等の充実に寄与することができました。

○主な経費

補助金

【鳥羽商工会議所 中小企業相談事業】 2,800千円

鳥羽商工会議所が実施した専門員による相談・指導や各種講習会、計画策定、金融斡旋等の取組に対して補助を行い、中小企業の資金繰りや経営基盤の安定化等を支援しました。

【鳥羽商工会議所 外国人技能実習生受入事業】 300千円

日中両国の友好親善と経済交流、水産加工技術の習得を目的として、浦村・桃取地区41事業所が受け入れた84名の実習生に対して各種手続きや日本語、生活適応等の講習等の取組みに補助を行い、当該事業の円滑化に寄与しました。

【鳥羽商工会議所 サービス産業生産性向上支援事業】 1,000千円

専門家によるセミナーや働き方改革モデル調査、事業承継モデル調査等の個別支援を通して旅館業の現状と今後の旅館経営について理解を深めるとともにPMS（ホテル管理システム）の利活用等による生産性向上に関する取組に対して支援を行いました。

負担金

【三重県産業支援センター】 24千円

本センターは、中小企業の様々な支援を行い、地域産業の振興と地域経済の活性化を目指しています。また、本市の創業支援の連携機関であるため、市のセミナーでも説明を依頼するとともに起業希望者について相談を行うことができました。

【三重県貿易情報センター】 50千円

ジェトロは対日投資の促進や農林水産物等の輸出、中堅・中小企業等の海外展開支援に取り組む組織であり、各種相談会を実施しています。市内には関わりのある事業者もあることから、今後も中小企業の商圏拡大に向け、連携していきたいと考えています。

○主な財源

国庫補助金 地方創生推進交付金 500千円

工業活性化事業	予算現額	800千円
	決算額	800千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 800千円

鳥羽商船高等専門学校との産学連携事業（牡蠣養殖業者支援システムの試作開発）や技能講習会、三重ものづくりインストラクターによる生産革新活動（現状分析・問題点の確認、改善等）等の取組に対して補助金を交付し、工業の活性化を支援しました。

○主な経費

補助金【鳥羽商工会議所 工業活性化支援事業】 800千円

商業活性化事業		予算現額	1,100 千円									
		決算額	1,100 千円									
		翌年度繰越額	0 千円									
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	800 千円									
<p>「海女バル&ハロウィンナイト」の開催や手づくり工房きらりの運営、Googleマップを活用した店舗の情報発信等の取組に対して補助金を交付し、商業の活性化を支援しました。</p> <p>○主な経費 補助金【鳥羽商工会議所 商業活性化支援事業】 1,100千円</p>												
中心市街地にぎわい創造事業		予算現額	2,600 千円									
		決算額	651 千円									
		翌年度繰越額	0 千円									
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	4,100 千円									
<p>中心市街地を核とした各団体等の取組を助成し、中心市街地の活性化を図りました。</p> <p>○主な経費 補助金 【九鬼水軍しろやまフェスタ実行委員会 中心市街地活性化事業】 151千円 鳥羽の歴史伝統文化の伝承を目的としたPRを行う「第7回桜と夢咲くしろやま嘉隆まつり」への支援を予定していましたが、荒天によるイベントの中止に伴い、必要経費のみの補助となりました。</p> <p>【中心市街地空き家等商業利用促進事業】 500千円 空き家等を改修し、新たに店舗等を開設した事業者に対して、補助金を交付することで中心市街地の活性化の一助としました。(平成30年度実績：1件)</p> <p>○主な財源 繰入金 ふるさと創生基金 576千円</p>												
工業団地造成に係る資金借入金利息補給補助事業		予算現額	569 千円									
		決算額	568 千円									
		翌年度繰越額	0 千円									
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	716 千円									
<p>鳥羽市開発公社に対し、松尾第2期工業団地造成資金にかかる借入金に対する利息の補給補助を行いました。</p> <table border="1" data-bbox="231 1704 884 1850"> <thead> <tr> <th></th> <th>借入利率</th> <th>借入額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>0.400%</td> <td>180,000千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>0.380%</td> <td>150,000千円</td> </tr> </tbody> </table>					借入利率	借入額	平成29年度	0.400%	180,000千円	平成30年度	0.380%	150,000千円
	借入利率	借入額										
平成29年度	0.400%	180,000千円										
平成30年度	0.380%	150,000千円										
特定計量器定期検査事務		予算現額	31 千円									
		決算額	27 千円									
		翌年度繰越額	0 千円									
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	10 千円									

特定計量器定期検査事務

計量思想の啓発を行う三重県計量協会に対して負担金を支出するとともに、2年に一度の特定計量器定期検査の実施（平成31年度）にあたり、周知を行いました。

○主な経費

負担金【三重県計量協会】 10千円

通信運搬費 17千円

地域資源活用促進事業

予算現額	1,844千円
------	---------

決算額	1,694千円
-----	---------

翌年度繰越額	0千円
--------	-----

まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう
----------	--------------------------

(前年度決算額)	11,621千円
----------	----------

本市の地域資源を活用した商品の開発と販路開拓を支援しました。

なお、前年度決算額と比較して負担金【第27回全国菓子大博覧会・三重実行委員会】10,000千円が皆減となったことから大きく決算額が減額しています。

○主な経費

会場借上料 1,129千円

日本最大級の商談会であるスーパーマーケットトレードショー（幕張メッセ）にブースを確保し、登録事業者の販路を開拓する支援を行いました。

補助金【鳥羽商工会議所 特産品販路開拓事業】 450千円

市の木である「やまとたちばな」を用いた商品開発（七味とうがらし、酢等）や「やまとたちばなの日」PRイベントを開催する取組に対して補助金を交付し、特産品の開拓を支援しました。

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金 1,243千円

職業能力向上支援事業

予算現額	416千円
------	-------

決算額	416千円
-----	-------

翌年度繰越額	0千円
--------	-----

まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう
----------	------------------------------

(前年度決算額)	416千円
----------	-------

三重県職業能力開発協会の会費負担及び鳥羽商工会議所事業への補助金支出により、労働者が職業能力や技能の向上を図りやすい環境整備の支援をしました。

○主な経費

負担金【三重県職業能力開発協会】 6千円

企業や団体における職業訓練その他職業能力の開発・向上や技能評価制度を普及促進させることを目的とする本団体に県内の他自治体とともに負担金を支出しました。

補助金【鳥羽商工会議所 一般継続事業】 410千円

鳥羽商工会議所における珠算・簿記検定の実施や市内事業所への新卒就業者激励会の開催等を支援しました。また、商工会議所の会報作成も補助し、市内事業所へ各種情報の提供が図られるように支援しました。

中小企業振興資金貸付事業	予算現額	32,000 千円
	決算額	32,000 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 32,000 千円

運転・設備資金に係る融資を促進し、中小企業の経営安定化を図るため、市独自の融資制度を設けています。他制度との利率の兼ね合い等から平成27年度から貸付件数はありませんが、資金繰りを円滑に進めるための選択肢の1つとして同制度を継続しました。

○主な経費

貸付金【鳥羽市中小企業振興資金融資】 32,000千円

【過去5年間の貸付実行件数の推移】

【単位：件】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成30年
件数	3	0	0	0	0

小規模事業資金保証料補給補助事業	予算現額	1,120 千円
	決算額	1,112 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 1,139 千円

県小規模事業資金の融資を受け、完済した方を対象として保証料の補給補助を行いました。利率の兼ね合い等から年度ごとに件数のばらつきがありますが、平成30年度は7件の補助を行い、事業の経営安定化を側面的に支援することができました。

(小規模事業資金保証料補給補助金における補助金交付件数及び補助金額の推移)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
交付件数 (件)	10	7	15	5	7
補助金額 (千円)	2,553	987	2,711	1,139	1,112

勤労者支援事業	予算現額	1,981 千円
	決算額	1,981 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額) 1,981 千円

伊勢地域勤労者福祉サービスセンター会費及び福祉フェスティバル事業補助金を支出し、中小企業等の勤労者福祉の向上を図りました。

○主な経費

負担金【一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター】 1,881千円

中小企業等は、大企業と異なり、単独での福利厚生制度導入や充実が困難な状況があります。

伊勢地域勤労者福祉サービスセンターでは、伊勢市、鳥羽市、玉城町の事業所から加入を受け、スケールメリットを利用した健康診断・人間ドックへの助成や余暇活動機会の提供等の事業

勤労者支援事業		
<p>を実施していることから、当団体へ負担金を支出し、勤労者福祉の向上を図りました。 (平成31年3月末時点で市内の63事業所(会員460人)が入会しています。)</p> <p>補助金【福祉フェスティバル事業】 100千円</p> <p>勤労者のゆとりある生活の実現を目指し、地場産業の取り組み紹介や融資・保険・住宅等の勤労者向け情報提供を目的として開催されている当該イベントに対して補助金を交付し、勤労者福祉の向上を図りました。</p>		
雇用情報発信事業	予算現額	20千円
	決算額	6千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額) 4千円
<p>ハローワーク伊勢の求人情報は毎週更新されますが、HPを閲覧できる環境にない方も求人情報が入手できるように職員がマリンターミナルやひだまり、市内ショッピングセンター等の求人情報閲覧拠点(市内15か所)に情報提供を継続して行いました。</p>		
地域のしごと魅力発信事業	予算現額	124千円
	決算額	88千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額) 899千円
<p>成人式で若者向けの就業冊子を配布するとともに鳥羽高等学校2年生の就職希望者(26人)を対象に地元企業によるガイダンスを平成31年2月に開催し、地域で働くイメージや状況等を説明しました。</p> <p>また、ハローワーク伊勢と連携し、市内ショッピングセンターで出張相談会(11月19・20日)を開催しました。</p> <p>○主な経費 報償 70千円</p> <p>○主な財源 国庫補助金 地方創生推進交付金 44千円</p>		

事業区分	4 高齢者就業機会拡大事業		7,330千円	事項別明細書 P 144 ~
	高齢者就業機会拡大事業	予算現額	7,330千円	
決算額		7,330千円		
翌年度繰越額		0千円		
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	7,330千円	
<p>高齢者人口が増加する中、働く意欲を持った高齢者が能力や経験を活かして生涯現役で活躍する機会を拡大することは今後益々大切になってくることから、鳥羽市シルバー人材センターの運営に対して助成を行いました。(平成31年3月末日時点:会員数164名)</p> <p>また、シルバー人材センターの活動にかかる周知等に取り組む県シルバー人材センター連合会にも負担金を支出し、その活動を支援しました。</p> <p>○主な経費</p> <p>補助金【(公社)鳥羽市シルバー人材センター運営事業】 7,280千円</p> <p>負担金【(公社)三重県シルバー人材センター連合会】 50千円</p>				

事業区分		5 企業誘致事業		0 千円 事項別明細書 P 144 ~	
企業誘致促進事業		予算現額			133 千円
		決算額			0 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)			18 千円
<p>伊勢志摩地域産業活性化協議会が実施したセミナー（東京）での誘致活動に加え、地域資源活用促進事業を契機に企業から松尾第2期工業団地パンフレットの送付依頼があり、送付したほか、市外の海拔の低い場所に立地する企業（12社）へ誘致アンケートを行いました誘致には至りませんでした。</p> <p>今後も立地場所の特性を活用して、誘致を継続していきたいと考えています。</p>					

事業区分		6 起業育成支援事業		388 千円 事項別明細書 P 144 ~	
起業育成支援事業		予算現額			719 千円
		決算額			388 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)			396 千円
<p>起業にあたり、必要となる経営、財務、人材育成、販路開拓の知識を効率よく習得できるように専門家による起業家育成支援セミナーを開催しました。（参加者4名）</p> <p>また、県創業・再挑戦アシスト資金融資による融資を受けた事業者に対して保証料の補給補助を行い、経営の安定化を支援しました。（平成30年度実績：4件）</p> <p>○主な経費 委託料 349千円 補助金 24千円</p> <p>○主な財源 国庫補助金 地方創生推進交付金 178千円</p>					

事業区分		7 移住・定住促進事業		500 千円 事項別明細書 P 144 ~	
地域就業促進事業		予算現額			1,000 千円
		決算額			500 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)			1,000 千円
<p>地域の新たな需要を掘り起こすことで地域経済の活性化を図るとともに、定住の促進につなげるため、市外住民が市内へ移住して起業する際の施設整備に要する経費の一部を助成しました。</p> <p>平成30年度は、1件の店舗が新規に開設されました。</p> <p>○主な経費 補助金【移住起業家施設整備事業】 500千円</p> <p>○主な財源 繰入金 ふるさと創生基金 500千円</p>					

事業区分	8 プレミアム付商品券事業		0 千円	事項別明細書	P 144 ~
プレミアム付商品券事業	予算現額	1,857 千円			
	決算額	0 千円			
	翌年度繰越額	1,857 千円			
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	0 千円		
<p>令和元年10月1日からの消費税・地方消費税率引上げに伴い、低所得者や3歳未満児の子育て世帯の消費喚起・下支えを行うため、プレミアム付商品券を発行等に必要な経費の一部を平成31年3月27日鳥羽市議会にて予算化しましたが、全額を令和元年度予算へ繰越しました。</p>					

(款) 6 観光商工費

(項) 2 商工費

(目) 3 消費者行政推進費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,463	1,319		178				1,141

事業区分	1 消費者行政推進事業		1,319 千円	事項別明細書	P 144 ~
消費者生活安定向上推進事業	予算現額	1,463 千円			
	決算額	1,319 千円			
	翌年度繰越額	0 千円			
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	1,672 千円		
<p>消費者トラブルに対応するため、消費生活相談室で週3日（月・水・金）の相談を受け付けて消費者トラブルに関する助言や斡旋等を行いました。</p> <p>平成30年度の延べ相談件数は54件で、前年度と同程度の件数となっています。</p> <p>相談内容についても、従来のはがきによる架空請求に関する相談のほか、インターネットを介した詐欺等も多くあり、常日頃から自分や家族にも詐欺的な請求が来るかもしれないと備えておくことが、大切となります。</p> <p>また、トラブルの未然防止を図るために広報とばへのコラム掲載や鳥羽商船学校での出前トーク等を通して啓発活動を行いました。</p> <p>○主な経費 消費生活相談員報償 1,072千円 消耗品費 108千円</p> <p>○主な財源 県補助金 消費者行政推進事業補助金 178千円</p>					

(款) 10 災害復旧費

(項) 1 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1 漁港災害復旧費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
16,420	8,241	4,368	660	2,900			313

事業区分 1 漁港災害復旧事業		8,241 千円 事項別明細書 P 188 ~	
漁港災害復旧事業		予算現額	10,750 千円
		決算額	2,780 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	17,621 千円
<p>漁業活動の早期再開を目指し、大雨等で本浦漁港他5漁港へ流入した漂着物の回収撤去を行いました。</p> <p>また、台風12号・21号・24号により破損した桃取漁港他4漁港照明灯など復旧及び機能回復に必要な工事を緊急的に行いました。</p> <p>○主な経費 海岸漂着物等処分委託業務(その2)他5件 1,264千円 桃取漁港照明灯災害復旧工事他5件 1,516千円</p> <p>○主な財源 県支出金 海岸漂着物等対策事業補助金 660千円 地方債 漁港災害復旧事業債 1,900千円</p>			
漁港災害復旧事業【繰越明許費】		予算現額	5,670 千円
		決算額	5,461 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	0 千円
<p>平成29年の台風21号により被災した答志漁港の浮棧橋のローラー・支承・連絡橋の復旧工事を行いました。</p> <p>○主な経費 答志漁港浮棧橋災害復旧工事 5,461千円</p> <p>○主な財源 国支出金 公共土木事業災害復旧事業負担金 4,368千円 地方債 漁港災害復旧事業債 1,000千円</p>			

(款) 10 災害復旧費

(項) 1 農林水産業施設災害復旧費

(目) 2 農地・農業用施設災害復旧費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,294	3,294		3,224				70

事業区分 1 農地・農業用施設災害復旧事業		3,294 千円 事項別明細書 P 188 ~	
農地・農業用施設災害復旧事業		予算現額	3,294 千円
		決算額	3,294 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	5,385 千円
<p>梅雨期間である平成30年6月19日～20日に起こった大雨の影響により、被害のあった農業用施設の災害復旧を行いました。</p>			

農地・農業用施設災害復旧事業

○主な経費

工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	契約額(円)
浦村町	浦村町字南川内地区農道災害復旧工事	施工延長L=9m コンクリート積工A=30㎡ 仮設工N=1.0式	3,294,000

○主な財源

県補助金 農地及び農業用施設災害復旧費補助金 3,224千円